

保護者等向け 放課後等デイサービス評価表

公表日:

事業所名: 放課後等デイサービス 放課後等デイサービス Liebe常音請Evo

対象人数 (保護者) 32人 回答者数 15人 回収 46.9%

チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備						
1	14	1				1階、2階の訓練室及びリラクゼーションルームを設け、スペースを広く確保できるようにしております。また、活動や利用人数に応じてテーブルなどを移動させ、より適切なスペース確保に努めております。
2	9	2	1	3	理由があるとは思いますが、今は先生の人数が少ないと思うので、今いる先生方の負担が大いんじゃないかと、心配しています。	現在、管理者、保育士、児童指導員、理学療法士の計5名で対応をさせていただいております。職員の配人数につきましてはより安心してご利用者様が通えるよう検討、提言を行っております。
3	10	3		2		玄関から1階訓練室の経路には段差はなく、バリアフリーな状況となっております。2階訓練室への移動手段は階段のみとなっております。今後の利用者様に応じて移動手段の検討を行っております。
4	13	2				支援終了後に掃除及び備品の定期的な消毒を行っております。また、加湿器を使用するなど環境面のセッティングを状況に応じて行っております。
適切な支援の提供						
5	14	1				ご利用者及び保護者様のご意見、ニーズ、アセスメントをもとに計画を立て、支援をさせていただいております。SSTの活動では作業療法士を外部講師として招き、より専門性の高い支援を実施しております。
6	14	1				目的をもって各支援プログラムを実施しております。プログラムの結果やその時の利用者様の様子などについては連絡帳(サービス提供記録等)でご報告させていただいております。
7	14	1		1		送迎時、面談時、LINEなどで連絡をする際に保護者様からニーズや課題、悩みをうかがわせていただいております。これらの情報と支援時に見られた客観的な様子をもとに個別支援計画書を作成させていただいております。
8	12	2		1		放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思っております。
9	12	3				個別支援計画書の内容について全職員で共有と周知をしようとして支援を行わせていただいております。
10	11	3		1		固定化されないよう職員間での話し合いを行っております。また、ご利用者様の希望や保護者様のニーズに合わせて内容のセッティングもさせていただいております。
11	4	1	5	5		利用者様以外との交流を行う機会が現在は少ない状況の為、今後交流機会を設けていけるよう検討してまいります。
保護者への説明等						
12	14			1		契約時に契約書と重要事項説明書に沿ってお伝えさせていただいております。変更などが生じた際や家族様からの質問などございましたら都度説明を行わせていただいております。
13	14			1		個別支援計画の内容について送迎時、面談時に保護者様へ説明を行わせていただいております。
14	11	2	1	1		外部講師を招き、家族参加できる機会を設けておりますが、頻度は少ないため、定期開催できるよう検討してまいります。
15	14	1				送迎時、LINEでの連絡、電話をもとに情報状況の共有をさせていただいております。また、必要に応じて面談の機会を設けていただいております。
16	12	2		1		個別支援計画作成時などのタイミングに合わせ定期的な面談の機会を設けていただいております。また、その他タイミングにおいても必要に応じて面談の機会を設け助言と支援を行わせていただいております。
17	13	1		1		ご利用者及び保護者様に常により添えられるように支援に努めていただいております。今後も共感的に支援ができるよう努めてまいります。
18	8	3	3			保護者様参加の機会や保護者様同士での交流機会については現状、頻度は少ない状況となっており、希望の声をいただいている為、検討し実現に努めてまいりたいと思っております。高校に関する情報についてもお伝えできる機会を設けていきたいと思っております。
19	13	1		1		ご相談やご意見をいただいた際には、当日中に迅速に対応できるように体制を整えております。
20	14	1				言葉での表現が苦手な利用者様に対しては文章やリアクションなどによる意思の伝達を行える状況を提供し、利用者様自身が伝達しやすい手段の確立へと繋げられるよう支援をさせていただいております。保護者様に対しては送迎時での情報共有やHUG、LINEを通して情報伝達を行わせていただいております。
21	13			2		HUG、LINEを通して、定期的に活動概要などの連絡を行わせていただいております。また、インスタグラムにおいては活動の様子や職員の見聞など発信させていただいております。
22	13	1		1		個人情報の保管の仕方は保護者には分かりませんが、先方の方を信頼しているため【はい】にしました。
非常時等の対応						
23	9	1		5		マニュアルをもとに職員の周知と研修を行っております。防災マニュアル以外のマニュアルについては公開ができていない状況の為、順次整備してまいります。
24	9			6		BCPを策定し、定期的に社内研修、訓練を行っております。月に1度の頻度で避難訓練や備品の確認などを行い、災害に対する予測、見直しを立ててまいります。
25	12	1		2		環境面などの整備を継続的に行わせていただいております。今後も安心してご利用いただけるよう安全対策を徹底してまいります。
26	13	2				事故などが発生した際には、すぐに保護者様に電話連絡を行い、状況(お子様の様子、怪我などの有無など)の伝達させていただいております。電話連絡が難しい際はLINEにて状況の共有をさせていただいております。
満足度						
27	13	1	1			全体的にご利用者及び保護者様が安心感をもてるよう環境面、支援面などの随時改善を図ってまいりたいと思っております。気になる点などが発生した際にはお気軽にご連絡いただけますと幸いです。
28	10	3	1	1		ご利用者は楽しみや目的をもって来所できるよう努めてまいります。他利用者様との関係性についてはお互いに不快なく過ごせるような関わり方を共に検討し実践していくなど支援してまいります。
29	13	2				子どもたちの一人一人に合わせて接していただいているのでいつも感謝の気持ちです。リーベグループより良いプログラムをしてる子はい、他にはないんじゃないかな、と思います。

1年の振り返りと総括	30	事業所に通われてからこれまでで、保護者様が心に残ったエピソードを教えてください。	10		5	<p>学校で採めた際に本人の主体的に味方になってくれたこと</p> <p>自分からお友達に話かけられるようになってきているので、少しずつ成長していると思います。</p> <p>編み物に興味がありましたが、私が教えては上手く理解できなかったのですが、先日からプレゼントを下さったのをきっかけに、上手に完成させ驚きました。又チャレンジする気持ちにもなり、有り難い活動でした。</p> <p>お友達から寒いからとカイロを持って帰ってきたり、年上のお姉さんたちから可愛がってもらってる感じが嬉しかったです。</p> <p>職業訓練のプログラムは他ではできないので大変ありがたいと感じました。</p> <p>パソコンでは、外部講師も入っていたり、専門的な操作方法など、本人の意欲に繋がっていると思います</p> <p>好きなことや興味があることを本人の自信に繋げていけたらと思います</p> <p>学校ではほとんど話さなくなってしまうので、他の子たちと楽しく遊べると嬉しいと思います</p>	<p>たくさんのエピソードをありがとうございます。職員一同で拝見させていただきます。大変うれしく思うとともに更なるモチベーションへと繋げられたと実感しております。</p> <p>今後ともどうぞよろしくお願いいたします。</p>
------------	----	--	----	--	---	--	---

※1 「本人にわかりやすく構造化された環境」とは、こども本人がこの部屋で何をするかがわかりやすいよう、机や本棚の配置などを工夫することです。

※2 「支援プログラム」とは、事業所における総合的な支援の推進と事業所が提供する支援の見える化を図るため、事業所で行われている取組等について示し、公表することが求められています。

※3 「放課後等デイサービス計画（個別支援計画）」は、放課後等デイサービスを利用する個々のこどもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援方針や支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的な内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のことです。これは、放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成し、保護者等への説明を行うとともに同意を得ることが義務付けられているものです。

※4 「活動プログラム」は、事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことです。こどもの発達状況や障害の特性等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されています。

※5 「ペアレント・トレーニング」は、保護者がこどもの障害の特性やその特性を踏まえたこどもへの関わり方を学ぶことにより、こどもの行動変容することを目標とします。